



2022年11月9日

各位

会社名 ブリッジインターナショナル株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉田 融 正
 (コード番号：7039 東証グロース)
問合せ先 取締役常務執行役員
 経営企画本部長 八木 敏 英
 (TEL. 03-5787-3030)

2022年12月期 連結業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社グループは、2022年11月9日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年2月10日に公表しました2022年12月期の連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年12月期 連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	6,612	672	672	450	121.05
今回修正予想 (B)	6,711	833	838	571	153.44
増減額 (B-A)	99	161	166	121	-
増減率 (%)	1.5%	24.0%	24.8%	27.0%	-
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	5,593	644	649	493	135.57
対前年増減率 (%)	20.0%	29.3%	29.0%	15.8%	-

2. 修正の理由

2022年12月期の連結業績につきましては、主要事業であるインサイドセールス事業については企業の法人営業活動が訪問中心から電話やメール、オンラインツールを活用したインサイドセールスを導入する企業が増え、新規顧客数・既存顧客との取引拡大により好調に業績を伸ばしております。研修事業についてはDX(※1)およびリスキリング(※2)の需要に牽引され、また大幅な利益構造の変革により、講師内製化等による原価効率向上および継続的なコスト削減が進み、利益成長に貢献しています。結果、第3四半期累計期間において売上高及び全利益指標につきましては過去最高値を更新し、利益につきましては、期首業績予想を大きく上回る事業進捗となっております。

※1「DX」：Digital Transformation デジタルトランスフォーメーションの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製

品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

※2「リスクリング」：経済産業省が推奨する、コロナ禍による働き方の変化・デジタル時代の到来に対応した人材育成を企業が従業員に対して行う取り組み。

上記状況を踏まえ業績予想の再検討を行った結果、売上高につきましては6,711百万円（前回予想比+1.5%）、営業利益は833百万円（同+24.0%）、親会社株主に帰属する当期利益は571百万円（同+27.0%）と、期首予想を上回る見通しとなりました。

なお、上記予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響が2022年12月期以降も継続すると仮定した当社グループの事業及び業績への影響は軽微とみております。その影響は引き続き注視し、今後業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

（注）上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は業況の変化等によって予想数値と異なる場合があります。

以上